

①

ウィズコロナを生き抜く「熊本ワクチン接種モデル」(将来像)

～ 安定的かつ迅速な接種によるステイホームからの脱却 ～

安定的かつ
迅速な接種

- ・ 安心安全な国産ワクチンを早期に実用化し、安定的な供給を実現
- ・ あらゆる関係者が参画し、あらゆる場や機会を活用することで、迅速な接種を実現



外出自粛や時短要請のない日常を取り戻す！

国民になじみのある不活化
ワクチンを国内で生産



安定的に供給できる
ようになれば…



働く人は職場で！



検診受託医療機関や産業医、
地域の医療機関が接種

学生は学校で！



校医が接種

高齢者や障がい者は
利用する施設で！



嘱託医等が接種

買い物と一緒に！



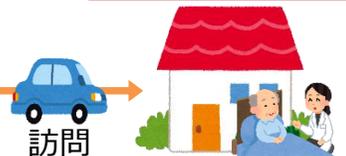
大型商業施設で接種

近所で気軽に！



身近な医療機関で接種

かかりつけ医が！



自宅で接種

医師会と連携して、
医療従事者をあらゆる場に派遣！

いつでもワクチン！ どこでもワクチン！

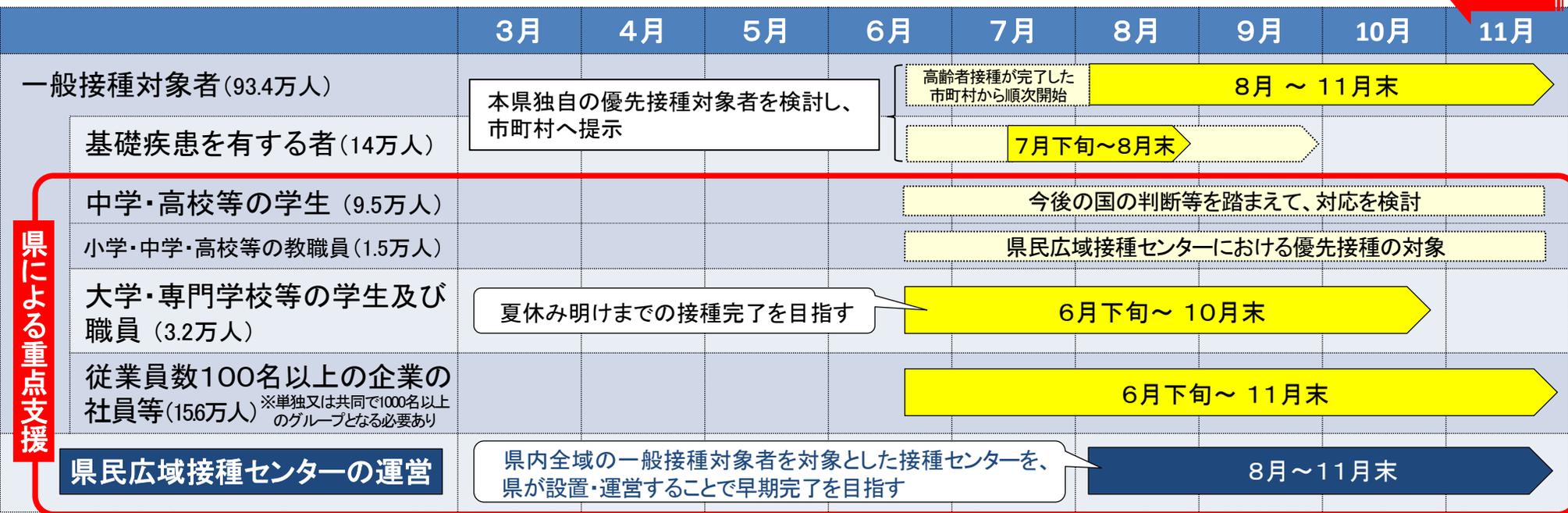


② 「熊本ワクチン接種モデル」による迅速かつ円滑な一般接種に向けた基本方針（R3）

基本方針

- 人の動きが活発になる年末の感染拡大を防ぐため、遅くとも11月中に希望する全ての県民への接種を完了する。
- 具体的には、一般接種を行う市町村支援の観点から、主に以下の3点に取り組む。
 - ① 中学・高校・大学等の**学生及び職員は学校で、従業員数100名以上の企業の社員等**（単独又は共同で1000名以上のグループとなる必要あり）は**職場で接種**を行うための体制づくりを支援 ※中学生・高校生については国の判断を踏まえて検討
 - 1000名以上のグループとなるためのマッチング等を支援
 - ② 全県民を対象とした**県民広域接種センターを県において運営**（メインターゲットは人口の多い熊本都市圏在住の県民）
 - 個人による予約枠に加え、小規模な企業や団体等を対象とした**団体予約枠を設定**
 - **団体予約枠において、次の者の接種を優先**（高齢者及び障がい児・者の居宅・施設サービス事業所等の従事者／乳幼児・児童生徒等との接触機会が多い保育士や教職員等／「熊本感染防止対策認証店（申請中含む）」の従業員／県民の安全・安心を担う警察官等）
 - **熊本地震からの復興応援枠として、益城町をはじめとする被災市町村の住民接種を補完**
 - ③ 市町村による個別接種及び集団接種の円滑な実施の支援
 - **本県独自の優先接種対象者を検討し、市町村へ提示**
 - 職域接種や県民広域接種センターにおける**接種者情報を、速やかに市町村と共有**

ワクチンが速やかに供給される見通しが立てば、更なる前倒しを検討



県による重点支援

県民広域接種センターの設置・運営について

- 一般接種対象者（県内全域）を対象とした県民広域接種センターを設置
- 仕事などで平日の昼間に接種が受けられない方を対象に開設
- 個人による予約枠に加え、小規模な企業や団体等を対象とした団体予約枠を設定
- 団体予約枠において、次の者の接種を優先（高齢者及び障がい児・者の居宅・施設サービス事業所等の従事者／乳幼児・児童生徒等との接触機会が多い保育士や教職員等／「熊本感染防止対策認証店（申請中含む）」の従業員／県民の安全・安心を担う警察官等）
- 熊本地震からの復興応援枠として、益城町をはじめとする被災市町村の住民接種を補完

熊本県

- ◆ 交通アクセスの利便性を踏まえ県による接種会場を設置

県医師会

- ◆ 接種に必要な医療人材の派遣を調整



県民広域接種センター



委託事業者

- ◆ 会場運営、予約受付等

【メインターゲット】
熊本都市圏在住者

【実施期間】
8月～11月末（予定）

【実施日時】
月～金：夜間3時間程度
土・日：日中6時間程度

【接種能力】
月～金：500～1,000人程度/日
土・日：1,000～2,000人程度/日
期間合計：70,000人（最大）

【ワクチン】
モデルナ製の使用を想定

県民の利便性向上
住民接種の加速化